

野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信 (マネープールファンド) 年2回決算型

運用報告書(全体版)

第19期(決算日2019年2月25日)

作成対象期間(2018年8月28日～2019年2月25日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

当ファンドは運用開始以来、「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)年2回決算型」を構成するファンドとして永らくご愛顧いただきましたが、2019年8月26日に信託期間満了を迎えます。

なお、「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)毎月分配型/年2回決算型(マネープールファンドを除く)」については、2017年11月17日に信託期間を延長する約款変更を行い、信託期間終了日は2024年8月26日となりましたので、ご留意下さい。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/債券	
信託期間	2009年9月9日から2019年8月26日までです。	
運用方針	野村マネーポートフォリオ マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として本邦通貨表示の短期有価証券に投資し、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。	
主な投資対象	野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(マネープールファンド)年2回決算型 マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債等に直接投資する場合があります。 本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(マネープールファンド)年2回決算型 マザーファンド	株式への直接投資は行いません。 株式への投資は転換社債を転換したものに限るものとし、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建て資産への投資は行いません。 株式への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分	込 配 金	騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
15期(2017年2月27日)	10,011	0	△0.0	65.1	—	2	
16期(2017年8月25日)	10,010	0	△0.0	39.0	—	2	
17期(2018年2月26日)	10,008	0	△0.0	25.5	—	2	
18期(2018年8月27日)	10,005	0	△0.0	54.3	—	2	
19期(2019年2月25日)	10,003	0	△0.0	41.6	—	2	

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドは一時的に待機資金をプールしておくことを目的としたファンドであり、該当するベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率			
(期 首)	円		%	%	%	%
2018年8月27日	10,005	—	—	54.3	—	—
8月末	10,005	0.0	—	54.3	—	—
9月末	10,005	0.0	—	47.4	—	—
10月末	10,004	△0.0	—	60.6	—	—
11月末	10,004	△0.0	—	60.5	—	—
12月末	10,004	△0.0	—	41.8	—	—
2019年1月末	10,003	△0.0	—	41.6	—	—
(期 末)						
2019年2月25日	10,003	△0.0	—	41.6	—	—

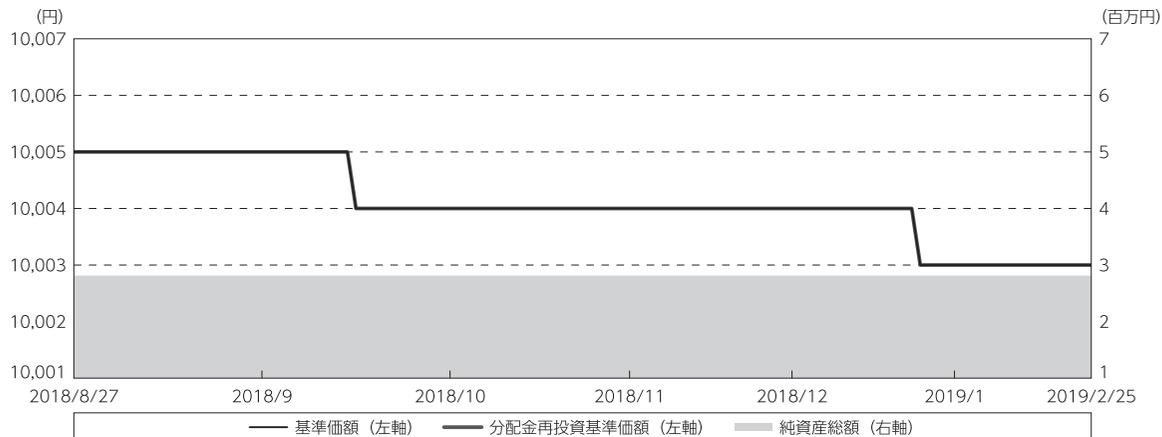
*騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：10,005円

期 末：10,003円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 0.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成年首（2018年8月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券等からの受取利息及びマイナス金利環境を要因とする支払利息

○投資環境

国内経済は、高水準にある企業収益や雇用・所得環境の改善継続等を背景に、緩やかな回復基調が続きました。

このような中、日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」、及び金融緩和の持続性を高める観点から導入した、政策金利の「フォワードガイダンス」や長期金利目標の柔軟化等の「強力な金融緩和継続のための枠組み強化」による措置を継続しました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（マネープールファンド）年2回決算型〕

主要な投資対象である〔野村マネーポートフォリオ マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れました。

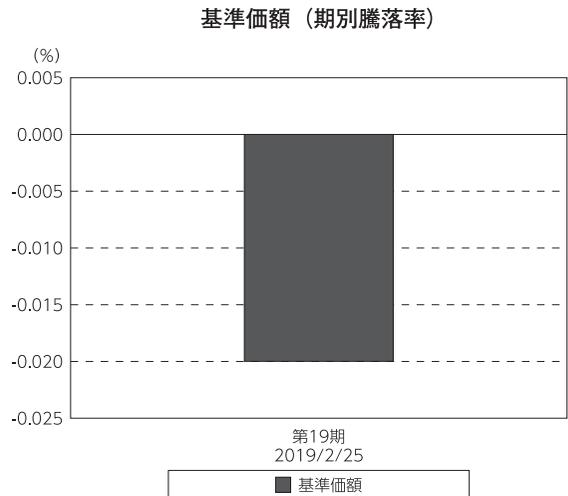
〔野村マネーポートフォリオ マザーファンド〕

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは一時的に待機資金をプールしておくことを目的としたファンドであり、該当するベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

収益分配については、マネープールファンドの商品性および基準価額の水準を勘案し、決定しました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第19期
	2018年8月28日～ 2019年2月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	406

〔注〕 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

〔注〕 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

〔野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（マネープールファンド）年2回決算型〕

〔野村マネーポートフォリオ マザーファンド〕受益証券への投資比率を引き続き高位に維持します。

〔野村マネーポートフォリオ マザーファンド〕

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご留意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※マイナス利回りの資産への投資等を通じてファンド全体の損益がマイナスとなった場合は、ファンドの基準価額が下落することが想定されますのでご留意ください。

○1万口当たりの費用明細

(2018年8月28日～2019年2月25日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2018年8月28日～2019年2月25日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年8月28日～2019年2月25日)

利害関係人との取引状況

<野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（マネープールファンド）年2回決算型>

該当事項はございません。

<野村マネーポートフォリオ マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
公社債	百万円 72	百万円 32	% 44.4	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 1.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

○組入資産の明細

(2019年2月25日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村マネーポートフォリオ マザーファンド	千口 2,743	千口 2,743	千円 2,759

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年2月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
野村マネーポートフォリオ マザーファンド	千円 2,759	% 98.1
コール・ローン等、その他	54	1.9
投資信託財産総額	2,813	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年2月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,813,695
コール・ローン等	53,905
野村マネーポートフォリオ マザーファンド(評価額)	2,759,790
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	2,813,695
元本	2,812,894
次期繰越損益金	801
(D) 受益権総口数	2,812,894口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,003円

(注) 期首元本額は2,812,894円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円、1口当たり純資産額は1,0003円です。

○損益の状況 (2018年8月28日～2019年2月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 548
売買損	△ 548
(B) 当期損益金(A)	△ 548
(C) 前期繰越損益金	△ 1,777
(D) 追加信託差損益金	3,126
(配当等相当額)	(87,176)
(売買損益相当額)	(△84,050)
(E) 計(B+C+D)	801
(F) 収益分配金	0
次期繰越損益金(E+F)	801
追加信託差損益金	3,126
(配当等相当額)	(87,176)
(売買損益相当額)	(△84,050)
分配準備積立金	27,179
繰越損益金	△29,504

*損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2018年8月28日～2019年2月25日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2018年8月28日～ 2019年2月25日
a. 配当等収益(経費控除後)	7,901円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	87,176円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	19,278円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	114,355円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	406円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2019年2月25日現在）

<野村マネーポートフォリオ マザーファンド>

下記は、野村マネーポートフォリオ マザーファンド全体(145,773千口)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当			期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
地方債証券	30,000 (30,000)	30,084 (30,084)	20.5 (20.5)	— (—)	— (—)	— (—)	20.5 (20.5)	
特殊債券 (除く金融債)	22,000 (22,000)	22,090 (22,090)	15.1 (15.1)	— (—)	— (—)	— (—)	15.1 (15.1)	
金融債券	10,000 (10,000)	10,000 (10,000)	6.8 (6.8)	— (—)	— (—)	— (—)	6.8 (6.8)	
合 計	62,000 (62,000)	62,175 (62,175)	42.4 (42.4)	— (—)	— (—)	— (—)	42.4 (42.4)	

*（ ）内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期			償還年月日
	利率	額面金額	評価額	
地方債証券	%	千円	千円	
北海道 公募平成21年度第4回	1.7	10,000	10,056	2019/6/26
京都府 公募（5年）平成26年度第1回	0.214	10,000	10,003	2019/4/30
千葉市 公募平成21年度第1回	1.59	10,000	10,024	2019/4/26
小計		30,000	30,084	
特殊債券(除く金融債)				
日本政策金融公庫債券 政府保証第27回	0.372	10,000	10,020	2019/8/19
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第85回	1.4	12,000	12,070	2019/7/31
小計		22,000	22,090	
金融債券				
商工債券 利付第765回い号	0.25	10,000	10,000	2019/2/27
小計		10,000	10,000	
合計		62,000	62,175	

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

野村マネーポートフォリオ マザーファンド

運用報告書

第10期（決算日2018年7月11日）

作成対象期間（2017年7月12日～2018年7月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建て資産への投資は行いません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	中率			
	円		%	%	%	百万円
6期(2014年7月11日)	10,059		0.1	68.6	—	207
7期(2015年7月13日)	10,066		0.1	66.7	—	135
8期(2016年7月11日)	10,069		0.0	60.5	—	140
9期(2017年7月11日)	10,065		△0.0	60.8	—	140
10期(2018年7月11日)	10,062		△0.0	34.5	—	145

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落			
(期首) 2017年7月11日	円 10,065		% —		% 60.8	% —
7月末	10,066		0.0		46.9	—
8月末	10,066		0.0		39.7	—
9月末	10,065		0.0		17.9	—
10月末	10,065		0.0		10.6	—
11月末	10,065		0.0		14.9	—
12月末	10,065		0.0		11.3	—
2018年1月末	10,064		△0.0		26.0	—
2月末	10,064		△0.0		25.9	—
3月末	10,064		△0.0		14.7	—
4月末	10,063		△0.0		14.4	—
5月末	10,063		△0.0		4.1	—
6月末	10,062		△0.0		34.4	—
(期末) 2018年7月11日	10,062		△0.0		34.5	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



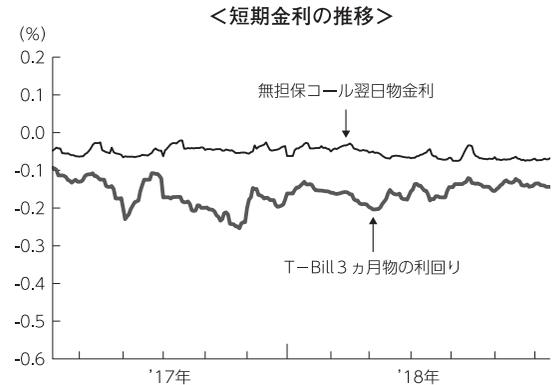
○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券やコール・ローンなどのマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

○投資環境

国内経済は、高水準にある企業収益や雇用・所得環境の改善継続等を背景に、緩やかな回復基調が続く中、日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続しました。

マイナス金利政策のもと、無担保コール翌日物金利は-0.05%程度、T-Bill（国庫短期証券）3カ月物の利回りは概ね-0.1%台で推移しました。



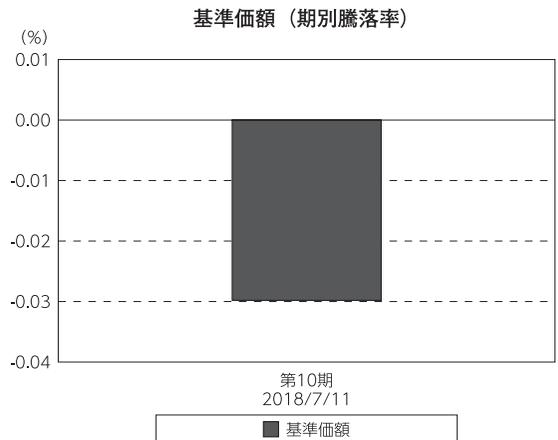
○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2017年7月12日～2018年7月11日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2017年7月12日～2018年7月11日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	110,047	110,047
	地方債証券	37,195	—
			(47,000)
	特殊債券	50,031	—
	社債券(投資法人債券を含む)	21,134	(65,000)
			—
			(31,000)

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

* () 内は償還等による増減分です。

*社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月12日～2018年7月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年7月11日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
地方債証券	10,000	10,066	6.9	—	—	—	6.9	
	(10,000)	(10,066)	(6.9)	(—)	(—)	(—)	(6.9)	
特殊債券 (除く金融債)	10,000	10,000	6.9	—	—	—	6.9	
	(10,000)	(10,000)	(6.9)	(—)	(—)	(—)	(6.9)	
金融債券	20,000	20,015	13.7	—	—	—	13.7	
	(20,000)	(20,015)	(13.7)	(—)	(—)	(—)	(13.7)	
普通社債券 (含む投資法人債券)	10,000	10,090	6.9	—	—	—	6.9	
	(10,000)	(10,090)	(6.9)	(—)	(—)	(—)	(6.9)	
合 計	50,000	50,172	34.5	—	—	—	34.5	
	(50,000)	(50,172)	(34.5)	(—)	(—)	(—)	(34.5)	

* () 内は非上場債で内書きです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	当 期 末		償 還 年 月 日
		額 面 金 額	評 価 額	
地方債証券 神奈川県 公募第158回	% 1.53	千円 10,000	千円 10,066	2018/12/20
小 計		10,000	10,066	
特殊債券(除く金融債) 日本政策金融公庫社債 第55回財投機関債	0.001	10,000	10,000	2018/8/9
小 計		10,000	10,000	
金融債券 農林債券 利付第760回い号	0.4	10,000	10,008	2018/9/27
しんきん中金債券 利付第286回	0.35	10,000	10,007	2018/9/27
小 計		20,000	20,015	
普通社債券(含む投資法人債券) 北海道電力 第265回	2.0	10,000	10,090	2018/12/25
小 計		10,000	10,090	
合 計		50,000	50,172	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年7月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 50,172	% 34.5
コール・ローン等、その他	95,416	65.5
投資信託財産総額	145,588	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年7月11日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	145,588,733
コール・ローン等	95,376,530
公社債(評価額)	50,172,862
未収利息	15,272
前払費用	24,069
(B) 負債	199
未払利息	199
(C) 純資産総額(A-B)	145,588,534
元本	144,695,052
次期繰越損益金	893,482
(D) 受益権総口数	144,695,052口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,062円

(注) 期首元本額は139,150,711円、期中追加設定元本額は8,103,099円、期中一部解約元本額は2,558,758円、1口当たり純資産額は1.0062円です。

○損益の状況 (2017年7月12日～2018年7月11日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	347,911
受取利息	405,738
支払利息	△ 57,827
(B) 有価証券売買損益	△400,742
売買損	△400,742
(C) 当期損益金(A+B)	△ 52,831
(D) 前期繰越損益金	910,943
(E) 追加信託差損益金	51,991
(F) 解約差損益金	△ 16,621
(G) 計(C+D+E+F)	893,482
次期繰越損益金(G)	893,482

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村金先物投信(マネーブルファンド)年2回決算型	83,843,258
財形給付金ファンド	49,586,670
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(マネーブルファンド)年2回決算型	2,579,737
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	1,003,293
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	998,495
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	997,887
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース)年2回決算型	997,001
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	997,000
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ニュージーランドドルコース)毎月分配型	996,337
野村金先物投信(豪ドルコース)年2回決算型	996,216
野村金先物投信(豪ドルコース)毎月分配型	996,215
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	100,755
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	99,927
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	99,898
野村金先物投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	99,622
野村金先物投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	99,622

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村金先物投信(ブラジルレアルコース)年2回決算型	99,622
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	9,985
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ニュージーランドドルコース)年2回決算型	9,978
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	9,978
野村金先物投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	9,962
上海株式指数・上証50連動型上場投資信託	9,938
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド 為替ナビ Eコース	9,937
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド 為替ナビ Fコース	9,937
野村DC・PIMCO・世界インカム戦略ファンド(為替ヘッジあり)	9,936
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース(野村SMA・EW向け)	9,935
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Bコース(野村SMA・EW向け)	9,935
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース	994
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Bコース	994
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Cコース	994
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Dコース	994

○お知らせ

該当事項はございません。

「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（通貨選択型）」（マネープールファンド（年2回決算型）を除く）の
お申し込み時の留意点

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

（2019年2月25日現在）

ファンド名 年 月	円コース/豪ドルコース/ ニュージーランドドルコース /南アフリカランドコース/ メキシコペソコース	ブラジルリアルコース
2019年2月	—	—
3月	—	4、5
4月	19	19
5月	27	27
6月	—	20
7月	4	4、9
8月	—	—
9月	2	2
10月	—	—
11月	28	15、20、28
12月	25	24、25

※ 2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ（<http://www.nomura-am.co.jp/>）にも掲載いたしております。